

本日の議論について

1. 医療計画策定状況等の説明(宮城県、長野県、千葉県)及び質疑応答

1) 医療計画の策定体制

(1) 医療従事者、医療保険者、患者等の医療を受ける立場の者・学識者の  
関与状況

(2) 施策の方向性に関する医療機関の理解、体制整備の確保の状況

(3) 医療と介護の連携

(4) 配布データ及び研修会の活用状況

2) 医療計画の内容

(1) 現状把握、課題抽出、目標設定のプロセス

(2) 指標の活用状況等について

(3) 過去の計画の評価及び将来推計

3) 医療計画の評価・見直しについて

(1) 第5次医療計画までの計画の評価及び見直し実施状況

(2) 現計画の評価法(PDCAサイクルをどのように回していくか)

※宮城県:二次医療圏の見直し・再編を実施

千葉県:医療計画期間中の見直し

長野県:医療費適正化計画やがん対策推進計画等の保健医療に係る

他の計画と一体的に策定

## 2. PDCA サイクルを効果的に機能させる方策を検討するための論点

1) 地域の医療が抱える課題が適切に評価され、解決に向かうにはどのような方策が必要か

2) PDCA サイクル回していくために、各ステージにおいて都道府県にとって必要となるものは何か

### 【PDCA の主なステージ】

計画→集計→分析→解釈→評価→対策→対策の体系化(計画の見直し)

→周知→観察→集計

3) 関与すべき関係者、各々の果たすべき役割

### 【主な関係者】

都道府県、市町村、医師会等の職能団体、医療機関、医療提供者(医師・看護師・薬剤師等)、医療保険者、学識者、住民、患者(家族を含む)、医療分野以外の関係者(予防・保健・介護・福祉等)

今回の「誰が、どの役割を、何を使って、PDCA サイクルを回すのか」というご議論を踏まえ、次回研究会までの数ヶ月の間で、具体的な指標やデータブックを整理予定。